

平成25年死亡災害

本年累計	14人	内交通事故	2件
前年同期	13人	故	1件

番号	災害発生年月	業種	事故の型	起因物	災害の概要
1	平成25年4月	道路建設工事業	墜落・転落	地山・岩石	道路改良工事現場において、被災者が車両系建設機械(解体用)を運転して、法面の岩石の破碎作業を行っていた際、破碎した岩石を均すため後退していたところ、滑り、バランスを崩し、当該車両系建設機械(解体用)と共に転落したものの。
2	平成25年4月	機械器具設置工事業	墜落、転落	開口部	エアコンの熱交換器の取り替え工事を終え片付け作業中、地下ピットに置いたあった空のポリタンクをロープで引き上げるため、1階で1階フロアのグレーチング1枚(約60kg)を外そうとして、約6m下の地下ピットに転落した。
3	平成25年4月	造船業	飛来、落下	玉掛用具	工場内で溶接機を天井クレーンで吊って移動中、床に置いてあった物に接触したため、玉掛け用具(爪状フック)が外れ溶接機が落下、そばにいた天井クレーン操作者が被災したものの。
4	平成25年4月	セメント・同製品製造業	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	集じん機の点検作業の時、集じん機内の粉が落ちるため、箱型容器をフォークリフトに乗せた状態で集じん機の下に置き、点検終了後、一旦、フォークリフトをバックさせ停車し、発じん防止のため、集じん機の架台にブルーシートを掛ける作業を行っていたところ、傾斜のため逸走したフォークリフトと集じん機の架台に胸部を挟まれたものの。
5	平成25年6月	一般貨物自動車運送業	墜落・転落	フォークリフト	山口県外において、トラックの荷の積込みを終え、トラック運転手がシート掛けをしようとフォークリフトのフォークに足を掛け作業をしていたところ、足を踏み外し、路上に落下し、頭部を強打したものの。

番号	災害発生日月	業種	事故の型	起因物	災害の概要
6	平成25年7月	造船業	はさまれ、巻き込まれ	クレーン	部品（重量約3 t）の運搬作業を行っていた作業員が、当該部品と搬送台車の荷台との間に上半身を挟まれているところを発見された。 被災者は午後から隣接する組立作業場に部品を搬送するため作業をしており、天井クレーン（無線操作式）を使って吊り込んでいた時に部品の下敷きになったもの。
7	平成25年7月	その他の事業	墜落・転落	建築物、構築物	改築工事現場において、施工確認のため被災者が15時40分頃現場に到着し17時頃分までの確認作業を行っていたが、気分が悪くなり建物の外部庇（幅約1.2m、高さ約8m）で約30分程度休憩の後、起き上がろうとしてバランスを崩し墜落したものの。
8	平成25年8月	その他の小売業	交通事故（道路）	トラック	被災者は、勤めている事業場の店舗から、同事業場の所有する自転車を 사용하여、同事業場の他の店舗に品物を受け取りに行く途中の路上で、頭部を打ち、倒れているのを発見されたもの。
9	平成25年8月	その他の事業	おぼれ	水	平成25年7月28日に発生した豪雨の改修工事の測量及び設計のため、被災者は2人一組で豪雨で崩れた川の測量を行っていたところ、被災者が川に入り川底の横断面の測量作業を行っていた際おぼれたもの。
10	平成25年9月	旅館業	その他	起因物なし	宿泊予定であった客室に荷物等を置きに行った際に、部屋の中で死亡していたもの。
11	平成25年10月	金属プレス製品製造業	はさまれ、巻き込まれ	金属材料	被災者は、コイル置き台のコイル材（重量約1 t）を取る為、コイル置き台に体半分を入れて作業中、コイル材が転倒し、コイル置き台に設けてあった鉄柱と転倒したコイル材の間に胸部をはさまれたもの。

番号	災害発生年月	業種	事故の型	起因物	災害の概要
12	平成25年11月	保険業	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バ イク	被災者は、車を運転中に反対車線にはみ出し、進行してきた対向車と正面衝突したものの。現場は片側1車線の直線道路。
13	平成25年12月	木造家屋建築工事業	墜落・転 落	屋根、は り、も や、け た、合掌	棟上げ中の建屋内部の高さ3.4mの梁の上で釘打ち墨出し作業を行っていたところ、基礎コンクリートに転落したものの。
14	平成25年12月	その他の土木工事業	墜落、転 落	不整地運 搬車	被災者は、幅2mの通路において不整地運搬車で土砂を運んでいたところ、不整地運搬車とともにその通路の路肩から転落し、高さ約5mの斜面（傾斜：約35度）に投げ出されたもの。